

# トキも人も育つまちへ

## 出雲市トキによるまちづくり構想

### アクションプラン 2025

出雲市は、2022年8月に

トキの野生復帰を目指す里地

〈放鳥候補地〉

に選定されました。

日本で絶滅してしまった野生のトキが  
もう一度出雲市で暮らせるように  
自然豊かで、トキも人も住みやすい  
環境にやさしいまちを目指して  
各種取組を進めてまいります。

トキの野生復帰に向けた3つの柱

機運醸成・普及啓発

トキの放鳥を  
心待ちにできる社会へ

生息環境の整備

トキを育む  
自然豊かな環境へ

地域活性化

トキを出雲市の  
新たなブランドへ

## 出雲市

令和6年(2024)2月



IZUMO CITY



出雲市観光振興局観光企画課プロジェクト推進室

# はじめに



## (1) トキが暮らしていた出雲地方

江戸時代中期の享保・元文年間(1716～1740頃)に編纂された『出雲国産物帳』にトキは「紅鶴」と記載されています。同時に「白からす」「牛からす」という方言名も併記されており、出雲地方においてトキは広く身近な存在であったことがうかがわれます。

近代においては、大正12年(1923)に島根県教育会から発行された『島根県誌』において、島根師範学校(現在の島根大学)の教諭であった雪吹敏光氏が「宍道湖にはしばしばトキ、ハクチョウ来る」と報告しています。

隠岐諸島では昭和中期までトキの生息が確認されており、こうした資料により出雲地方においてもトキの群れが生息していたことが確認できます。

## (2) 日本の空からトキが消える

トキは昔、日本の各地で見ることができました。トキ色は淡い桃色と言われ、羽軸からのグラデーションの美しさが大きな特色であり、大空を飛び交う光景は見る者の心を魅了したことでしょう。

しかしながら、美しい羽根や食用を目的とした狩猟、近代化に伴うトキの生息環境の激変により、生息数は激減しました。絶滅が危惧される中、トキは昭和27年(1952)に特別天然記念物に指定、昭和35年(1960)に国際保護鳥に選定され、保護活動が行われましたが、昭和56年(1981)に佐渡に生息していた最後の5羽を保護のため捕獲し、日本の空からトキの姿は消えてしまいました。

## (3) 出雲市のトキ保護活動

現在、我が国をはじめ、中華人民共和国や大韓民国で保護増殖が進められているトキは、全て中華人民共和国の陝西省洋<sup>せんせいしょうようけん</sup>県で発見された7羽のトキの子孫となります。

出雲市は、この洋県が所属する漢中地区と平成3年(1991)から交流をはじめ、漢中地区が漢中市となった平成8年(1996)には友好都市協定を締結し、陝西トキ救護飼養センターで飼育されていたトキの飼育費用を負担する「認養」を平成12年(2000)に開始しました。

その後、平成16年(2004)に国において佐渡の飼育個体の分散の方針の決定を受け、出雲市は平成18年(2006)にはトキの近似種の飼育を開始し、飼育技術の向上を図るなどトキの分散飼育の実現に向けて準備を進めました。

そして、平成20年(2008)にトキの分散飼育地として決定を受け、平成23年(2011)にトキの分散飼育・飼育繁殖をトキ分散飼育センターにおいて開始し、国のトキ保護増殖事業の進展に貢献してきたところです。

#### (4) トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくり

出雲市は、平成22年(2010)に「出雲市トキによるまちづくり推進協議会」を発足し、各種団体と連携しながらトキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりを推進してきました。

平成23年(2011)には、トキによるまちづくりの指針となる「出雲市トキによるまちづくり構想」を策定し、令和元年(2019)にはトキの一般公開を開始しました。

令和4年(2022)には、国のトキ保護増殖事業計画が本州でのトキの野生復帰に向けて変更されたことから「出雲市トキによるまちづくり構想」を一部改定しました。そして、令和4年(2022)8月、出雲市は石川県とともにトキの野生復帰をめざす里地(A地域：将来的なトキの野生復帰をめざし環境整備を進める地域)に選定されたところです。

世界経済フォーラムのグローバルリスク報告書2024では、生物多様性の損失と生態系の崩壊は、異常気象と気候変動に次ぐ深刻な危機と言われています。

全ての生物は単体で存在しているわけではなく、補い合い影響しあって生きており、ある種や遺伝子、生態系が失われると他の生物にも影響が及び、全体のバランスが崩れてしまいます。

私たちの生活は、多くの部分が自然によって支えられており、人と自然が共生する社会を構築するためには、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進していく必要があります。

出雲市は、総合振興計画「出雲新話2030」において、「トキが飛び交う美しい出雲」を掲げ、出雲の自然を舞台にトキの野生復帰を目指し、持続可能な地域社会の形成に向けて取り組むこととしています。多様な生き物が生息する環境にやさしいまちであればトキも生息することができ、それは人にとっても住みやすい、暮らしやすい環境となります。

合言葉は「トキも人も育つまちへ」。出雲市が有する総合力「出雲力」を活かし、経済と暮らしの好循環で、住む人、関わる人、誰もが笑顔になれるまちを目指します。



写真提供：環境省

# I 目的及び位置づけ

このアクションプラン2025は、「出雲市トキによるまちづくり構想」に基づき、トキをシンボルとした環境にやさしいまち出雲を目指し、国の「トキ野生復帰ロードマップ」の基本方針に沿って、トキの放鳥・野生復帰に向けて、基本的な施策・事業を体系的に示すものです。

# II 計画期間

令和5年度（2023）～令和7年度（2025）【短期実施計画】

令和8年度（2026）～令和12年度（2030）【中長期構想】

※次期アクションプランについては、国の次期トキ野生復帰ロードマップ（策定予定）を踏まえて策定します。

# III 放鳥目標年度

**令和9年度(2027)** の放鳥を目指す

※トキの放鳥・野生復帰に向けて、出雲市が独自に目標設定するものです。

# IV アクションプラン2025の構成

基本目標	基本施策
1. 市民の環境意識の向上	(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化 (2) 若年層に向けた発信力の強化 (3) 農業者・関係者の理解醸成
2. 環境にやさしい農業の普及	(1) 環境にやさしい農業の推進 (2) 既存制度の活用・推進
3. 豊かな生態系の再生	(1) 生息環境整備に向けた取組 (2) 森林や水辺の再生と活用 (3) 野生動植物にも人にもやさしい里山づくり (4) 放鳥に係る体制づくり
4. 人的交流の活性化	(1) つながる人の輪
5. 地域産業への波及	(1) トキを出雲市の新たなブランドへ (2) 環境にやさしいまち出雲の全国発信

# 1 市民の環境意識の向上



市は、平成23年からトキの分散飼育を開始し、令和元年度からは一般公開も行い、様々な形で啓発活動を行ってきましたが、令和5年度に実施した市の公式SNS登録者を対象とした認知度調査によると、トキ自体の認知度はほぼ100%と高いものの、トキの放鳥候補地に選定されたことの認知度は半数程度であり低い状況です。

トキの放鳥・野生復帰には、市民・県民の理解と協力が不可欠であり、市民・県民がトキの放鳥を心待ちにしていただけのような機運を醸成する必要があります。

また、なぜ出雲市がトキの放鳥・野生復帰に取り組むのか、その意義について発信していく必要があります。

トキの絶滅した原因には、乱獲のほか、圃場整備や農薬使用などの農業の近代化による餌場の減少、森林の伐採によるねぐらの減少などがあげられます。

多様な生き物が生息する環境にやさしいまちであればトキも生息することができ、それは人にとっても住みやすい、暮らしやすいまちとなります。

トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりの価値観を市民が共有するとともに、市内外に向けてこの独自価値をしっかりと発信することで、市民の地域への愛着形成につながります。

## 【令和7年度（2025）までに重点的に取り組む事項】

### （1）普及啓発活動の強化・価値観の共有化

- ・普及啓発用のグッズやトキ学習コーナーの展示品の充実を図ります。あわせて市のイメージカラーに設定したトキ色を活用し、視覚的にトキによるまちづくり事業について触れる機会を増やします。
- ・独自ブランドの確立に向けてブランディング戦略について検討し、情報発信を行います。
- ・シンポジウムや説明会を開催し、広く周知を図ります。
- ・行政、市民及び民間団体等が一体となった機運醸成を図るため、「(仮称) 出雲市トキによるまちづくり条例」の制定について検討します。
- ・ふるさと納税型クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税を活用し、多くの方々と価値観を共有するとともに、事業の促進を図ります。
- ・トキファンクラブを設置し、関係人口の拡大を図ります。
- ・NPO法人いずも朱鷺21の活動を支援するとともに、トキの取組を応援してくださる賛同者の拡大を図ります。
- ・SNSをはじめとする様々な媒体を活用し情報発信します。
- ・愛宕山公園内にトキ近似種の飼育・公開場所を設置し、公園の魅力化を図るとともに、直接触れ合う機会を増やします。
- ・トキの認知度調査を継続的に実施し、トキによるまちづくりの認知度を把握するとともに施策立案につなげます。

## (2) 若年層に向けた発信力の強化

- ・トキのオリジナル絵本を作成し、3歳児健診時に配付するとともに、保育所、幼稚園、診療所、子育て関連施設等に設置します。
- ・トキの紙芝居や夏休みの自由研究講座の開催など、子ども向け学習講座を実施します。
- ・小・中学校において巡回企画展を実施するなど、環境教育の充実に努めます。
- ・ミコトッキーを活用しPRを図ります。

## (3) 農業者・関係者の理解醸成

- ・トキの餌場確保に向け、JAなどの関係機関と連携し、様々な機会を通じて農業者等の理解醸成に努めます。
- ・放鳥適地の地域において、放鳥・野生復帰に向けた取組などを説明する機会を設け、トキによるまちづくり事業について理解醸成を図ります。



## 2

# 環境にやさしい農業の普及



国は「みどりの食料システム戦略」を策定し、有機農業をはじめとする自然環境に配慮した持続可能な食料システムの構築を進めています。国の方針を踏まえ、市においては国土保全や環境保全、生態系保全などの農業の多面的な機能の発揮に向け取組を進めることとしています。

環境にやさしい農業の普及のため、令和5年（2023）10月に「出雲市環境にやさしい農業研究会」を設立しました。

環境にやさしい農業の普及は、結果として、トキの餌場環境の整備につながります。水田は、水生小動物を餌とするトキにとって重要な餌場となることから、有機農業等の普及が可能な農業技術体系の確立、餌場確保につながる水田管理体系の確立及び農業所得の向上に向けた販売戦略について、先進地の事例も参考にしながら取組を進めます。

令和7年度（2025）には、研究会を引き継ぐ発展的な組織に移行し、本格的な普及に取り組めます。

### 【令和7年度（2025）までに重点的に取り組む事項】

#### （1）環境にやさしい農業の推進

- ・国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、有機農業等の普及を可能とする環境にやさしい農業技術体系の確立について検討します。
- ・雨水田んぼや早期湛水、江<sup>え</sup>の設置などの実証試験を行い、トキの餌場確保につながる水田管理体系の普及を目指します。
- ・トキをブランドとした米の高付加価値化など、市独自認証制度の確立を目指します。

#### （2）既存制度の活用・推進

- ・有機JAS認証及び特別栽培農産物の普及を促進します。
- ・中山間地域において実施されている棚田保全活動を支援することにより、棚田が持つ多面的機能を活用し、交流人口の拡大など地域振興を進めます。
- ・環境保全型農業直接支払交付金制度や新出雲農業チャレンジ事業を活用し、土水路やビオトープの設置を支援します。





トキの野生復帰のためには、ねぐらや営巣に適した森林、餌場など生息環境を整備する必要がありますことから、国の放鳥要件を踏まえ、継続しやすい取組をまとめた生息環境基本指針を策定します。また、モデル地域において実証試験を行い、事業効果を検証しながら横展開を図ります。

市内の主要な放鳥候補地域において餌資源量調査を実施し、現状における餌資源量を把握するとともに、餌資源量調査の結果及び環境保全型農業の普及状況を踏まえ、餌場環境（田んぼビオトープ等）の整備について検討します。

斐伊川・神戸川流域は、自然豊かな水辺環境を有しており、ハクチョウやガンなどの水鳥や多くの水生動物の棲みかとなっています。保全すべき自然環境を有機的につなぎ、面的な環境整備を進めるため、関係する行政機関、周辺自治体及び民間団体と連携し、広域的な取組を進めます。

また、放鳥の実施体制及び放鳥後のモニタリング体制について検討する必要があります。特にモニタリングについては、放鳥後の生息状況や分布の把握、繁殖経過観察などトキの定着に向け確認する必要があります。誰がどのような方法で実施するか、具体的な実施体制について、国、県及び関係機関と協議、検討を進めます。

### 【令和7年度（2025）までに重点的に取り組む事項】

#### （1）生息環境整備に向けた取組

- ・出雲市トキ野生復帰アドバイザー等の意見を踏まえ、継続しやすい取組をまとめた生息環境基本指針を策定します。
- ・出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会において、放鳥適地における生き物調査を実施します。
- ・通年湛水箇所の整備など試行的に取組を進め成果を検証します。
- ・餌資源量調査を実施し、放鳥適地について検討を進めます。
- ・餌資源量調査の結果及び環境保全型農業の普及状況を踏まえ、餌場環境（田んぼビオトープ等）の整備について検討します。
- ・雨水田んぼや早期湛水、<sup>え</sup>江の設置などによる実証試験を行い、トキの餌場確保につながる水田管理体系の普及を目指します。〔再掲〕

#### （2）森林や水辺の再生と活用

- ・トキが生息するための良好な水辺環境を面的に整備・維持するため、「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と生きる流域づくり検討協議会」や「宍道湖水環境改善協議会」などの関係団体、島根県、周辺自治体と連携して取組を進めます。
- ・河川及び湖沼周辺の清掃活動を行うとともに、市内河川の水質検査を継続実施します。
- ・森林整備による水源涵養機能の回復向上に努めます。



### (3) 野生動植物にも人にもやさしい里山づくり

- ・出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会と連携し、自然環境の把握、情報発信の充実、広域における環境にやさしいまちづくりの機運醸成を図ります。
- ・侵入竹の除去による里山林の健全化に努めます。

### (4) 放鳥に係る体制づくり

- ・放鳥、野生復帰に向けた広域連携体制づくりについて、国、県及び関係機関と協議、調整を行います。
- ・餌資源量調査の結果及び環境にやさしい農業の普及状況を踏まえ、国、県及び関係機関と協議調整のうえ放鳥場所を検討し、選定します。
- ・順化訓練、放鳥方法及び放鳥の実施体制のあり方について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め体制構築に努めます。
- ・テン等の天敵対策について、国、県及び関係機関と協議調整を行います。
- ・野生下におけるトキの行動、生息環境等を調査するため、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め、モニタリング体制の構築に努めます。
- ・トキの傷病及び死亡等の個体が発見された場合の緊急時の対応について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め、体制構築に努めます。



写真提供：環境省

## 4

# 人的交流の活性化



日本で唯一トキの野生復帰を実現した佐渡市と、行政、民間及び教育分野における人的交流の活性化を図り、交流人口・関係人口の拡大及び新たなネットワークづくりを進めます。

佐渡市におけるトキの取組を本市で紹介することで、佐渡市をより身近に感じていただき、自治体間交流につなげていきます。

また、同じ里地である石川県と情報を共有し、本州でのトキの放鳥・野生復帰に向けて取り組みます。

近隣市町と情報共有を行うとともに、「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と生きる流域づくり検討協議会」、「出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会」等の既存組織と連携し、取組を通じた賛同者の拡大、賛同者同士の交流促進を図ります。

### 【令和7年度（2025）までに重点的に取り組む事項】

#### （1）つながる人の輪

- ・佐渡市、石川県及び環境省等で構成するトキと共生する里地づくりネットワーク協議会において、本州においてトキが生息できる環境整備を円滑に行うため情報共有を行うとともに、交流促進を図ります。
- ・放鳥に向けた体制を整えるため、必要に応じて、佐渡市への職員の研修派遣を検討します。
- ・トキが生息するための良好な水辺環境を面的に整備・維持するため、「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と生きる流域づくり検討協議会」などの関係団体、島根県、周辺自治体と連携して取組を進めます。〔再掲〕
- ・出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会と連携し、自然環境の把握、情報発信の充実、広域における環境にやさしいまちづくりの機運醸成を図ります。〔再掲〕
- ・ふるさと納税型クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税を活用し、多くの方々と価値観を共有するとともに、事業の促進を図ります。〔再掲〕
- ・トキファンクラブを設置し、関係人口の拡大を図ります。〔再掲〕
- ・NPO法人いずも朱鷺21の活動を支援するとともに、トキの取組を応援して下さる賛同者の拡大を図ります。〔再掲〕



写真提供：環境省



トキをシンボルとしたまちづくりを持続可能な事業とするためには、社会環境及び生息環境を整備すると同時に、経済効果を生み出すことが重要です。

トキは学名を「ニッポニアニッポン」といいます。学名に「ニッポン」の名を持つ鳥類はトキしかおらず、日本を代表する鳥と言っても過言ではありません。そして、その美しい外見からも、トキはブランドとして大きな価値と可能性を有していることがうかがえます。

トキを活用した農作物等の高付加価値化、新たな商品開発、観光メニューの創出など、トキを出雲市の新たなブランドとして確立させ、地域における経済活動の促進及び人と人とのつながりを生み出すことにより、トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりの持続的な発展につなげます。

トキの野生復帰は、行政、地域住民、民間団体、企業等が一緒になって取り組むことが必要です。近年、ネイチャーポジティブ（自然再興）に取り組む企業が増えており、ステークホルダー（賛同者）の拡大、掘り起こしを図り、官民連携によって大きな事業展開につなげます。

### 【令和7年度（2025）までに重点的に取り組む事項】

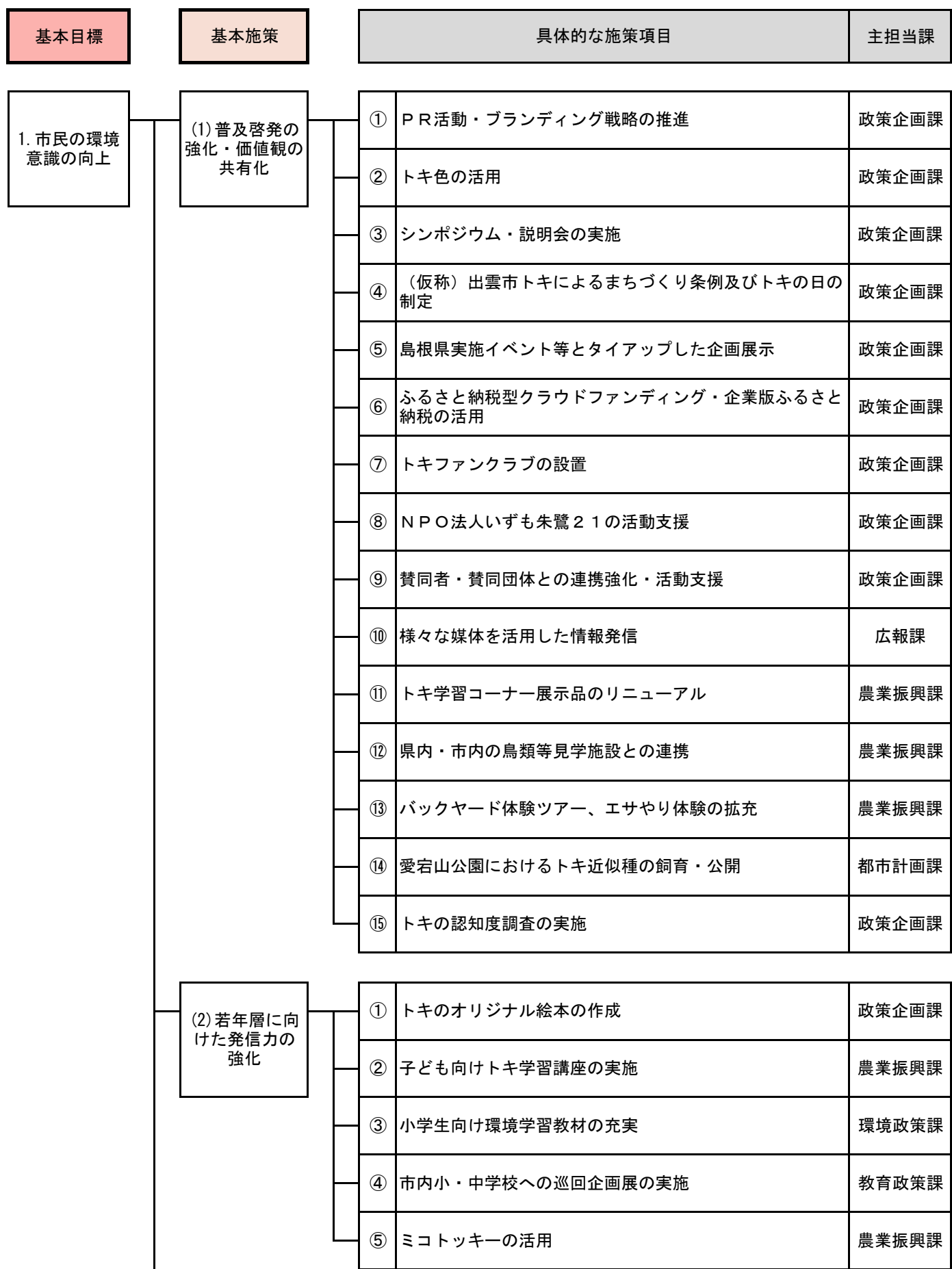
#### （1）トキを出雲市の新たなブランドへ

- ・トキをブランドとしたトキ関連の商品開発に取り組みます。
- ・トキを題材とした観光プログラムの検討、試行を行います。
- ・バードウォッチングツアーの検討を行います。
- ・ミコトッキーを活用しPRを図ります。また、若年層に向けた新たなPR手法を検討します。〔再掲〕
- ・トキをブランドとした米の高付加価値化など、市独自認証制度の確立を目指します。〔再掲〕

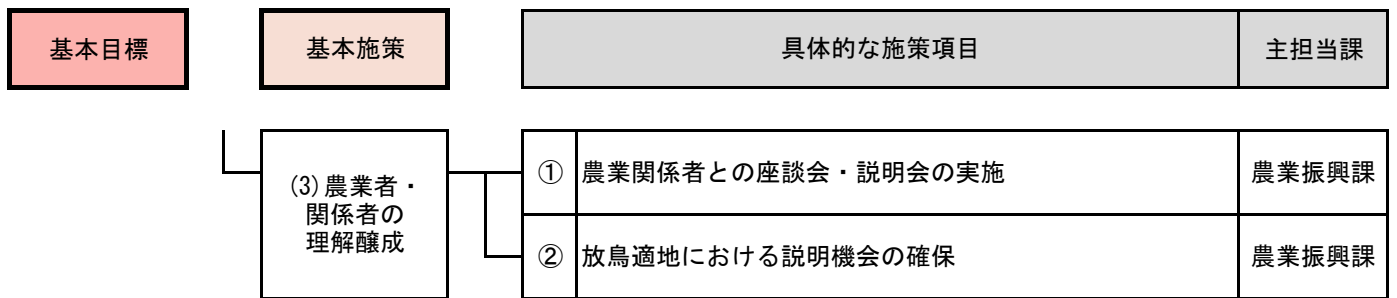
#### （2）環境にやさしいまち出雲の全国発信

- ・出雲縁結び空港及び高速道路サービスエリアにおいて、情報発信を行います。
- ・デジタルプロモーションにより、全国の幅広い世代へPR活動を行います。
- ・トキ関連事業を企業のCSR（企業の社会的責任）や寄附などの社会貢献活動の取組の一つとして実施していただけるように広く募集し、支援していただいた企業を周知する仕組みを構築します。
- ・事業推進に向けた財源確保に取り組みます。
- ・ふるさと納税型クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税を活用し、多くの方々と価値観を共有するとともに、事業の促進を図ります。〔再掲〕

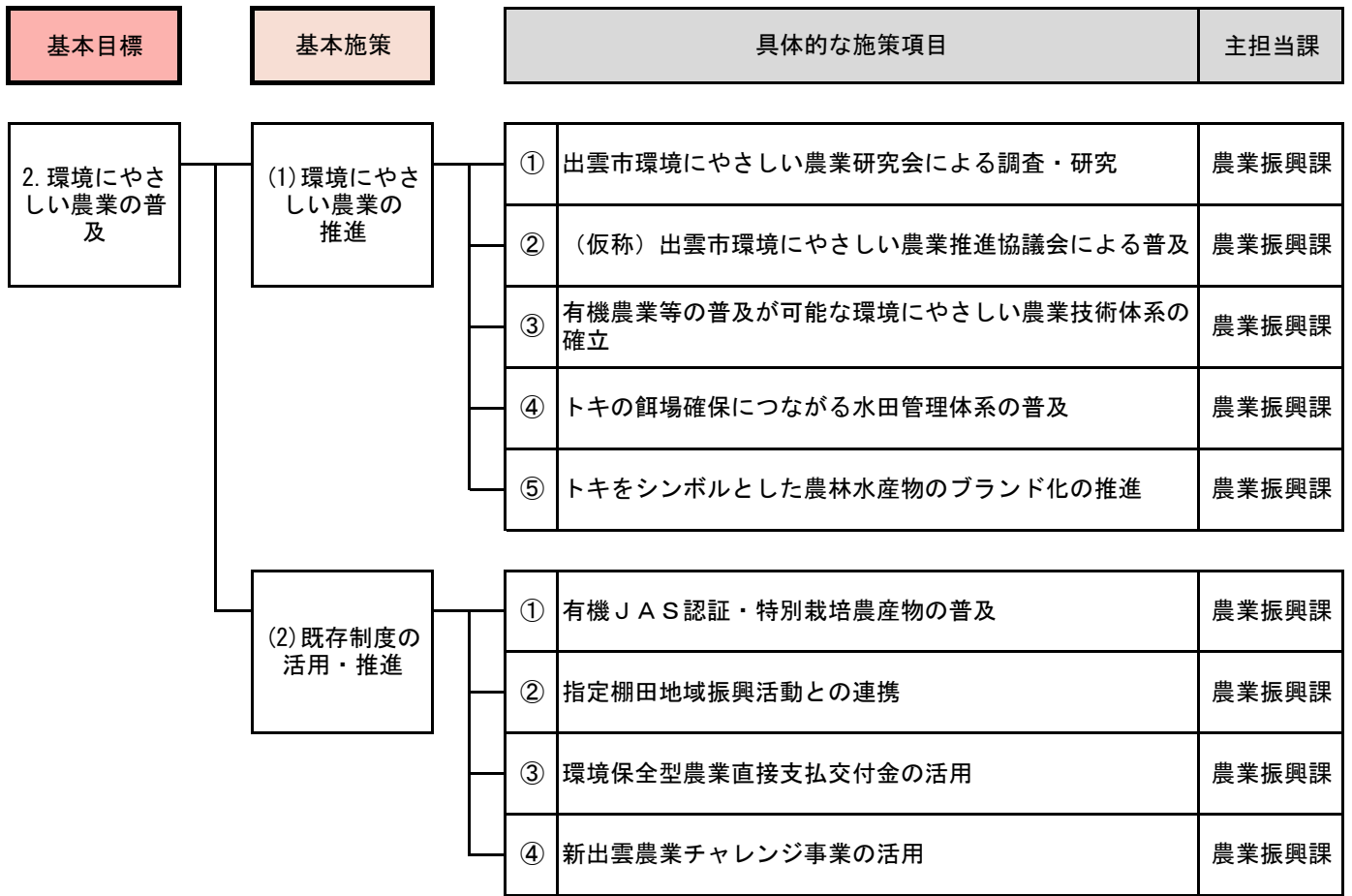
# 出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025 体系図



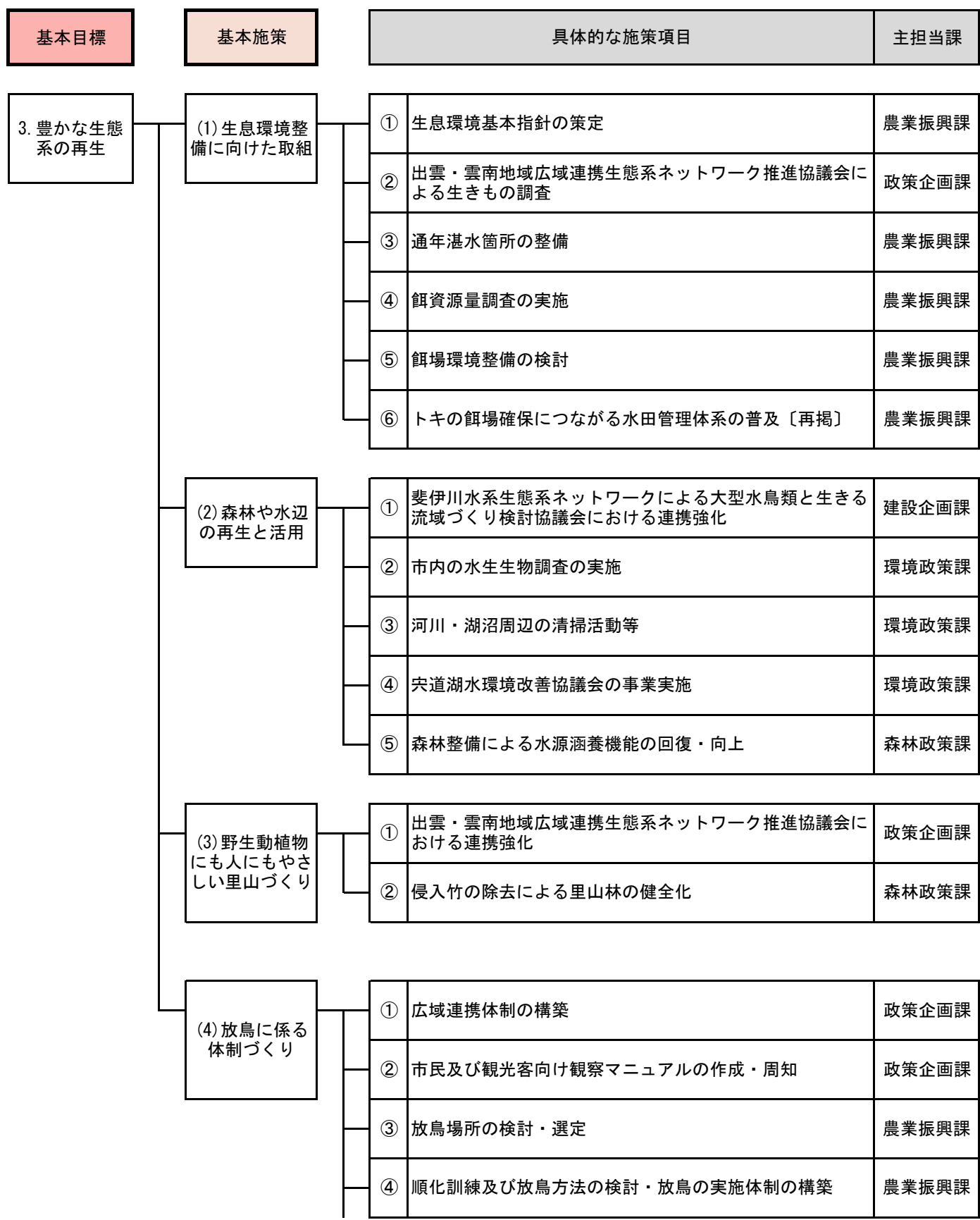
# 出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025 体系図



# 出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025 体系図



# 出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025 体系図

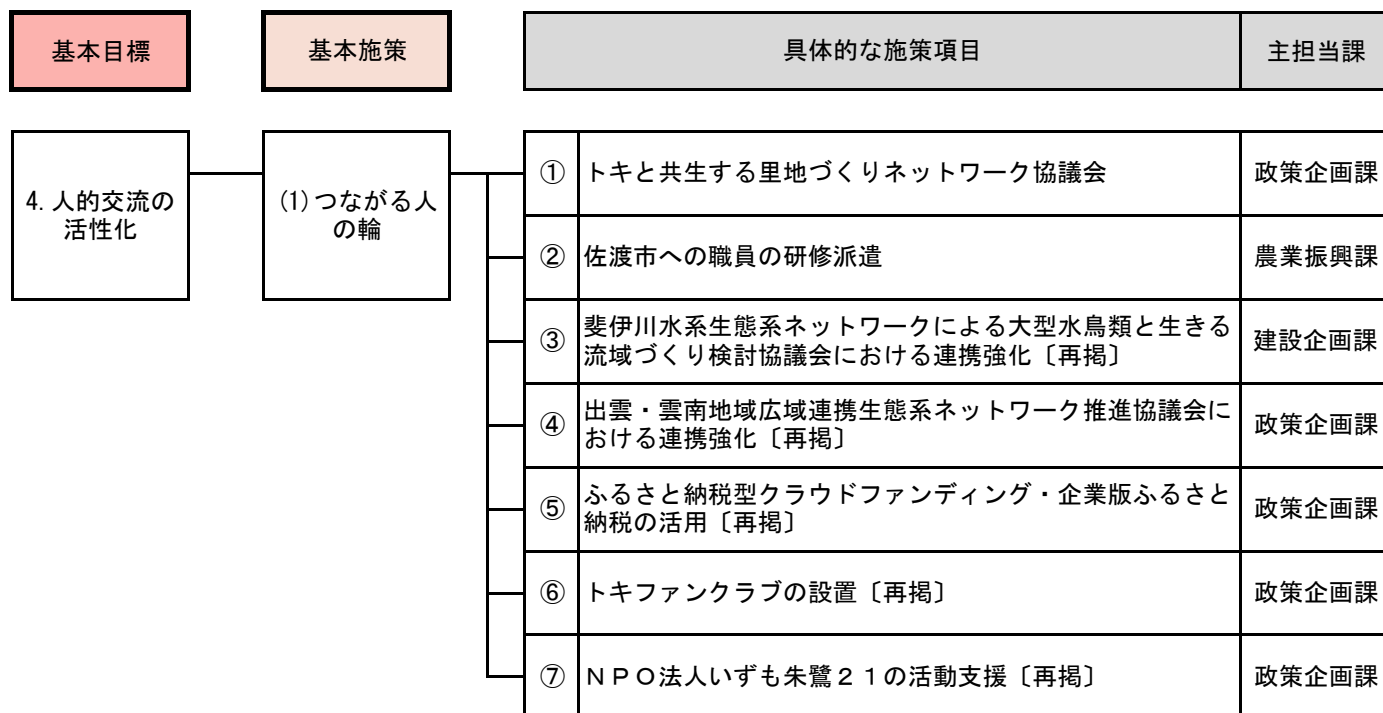


# 出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025 体系図

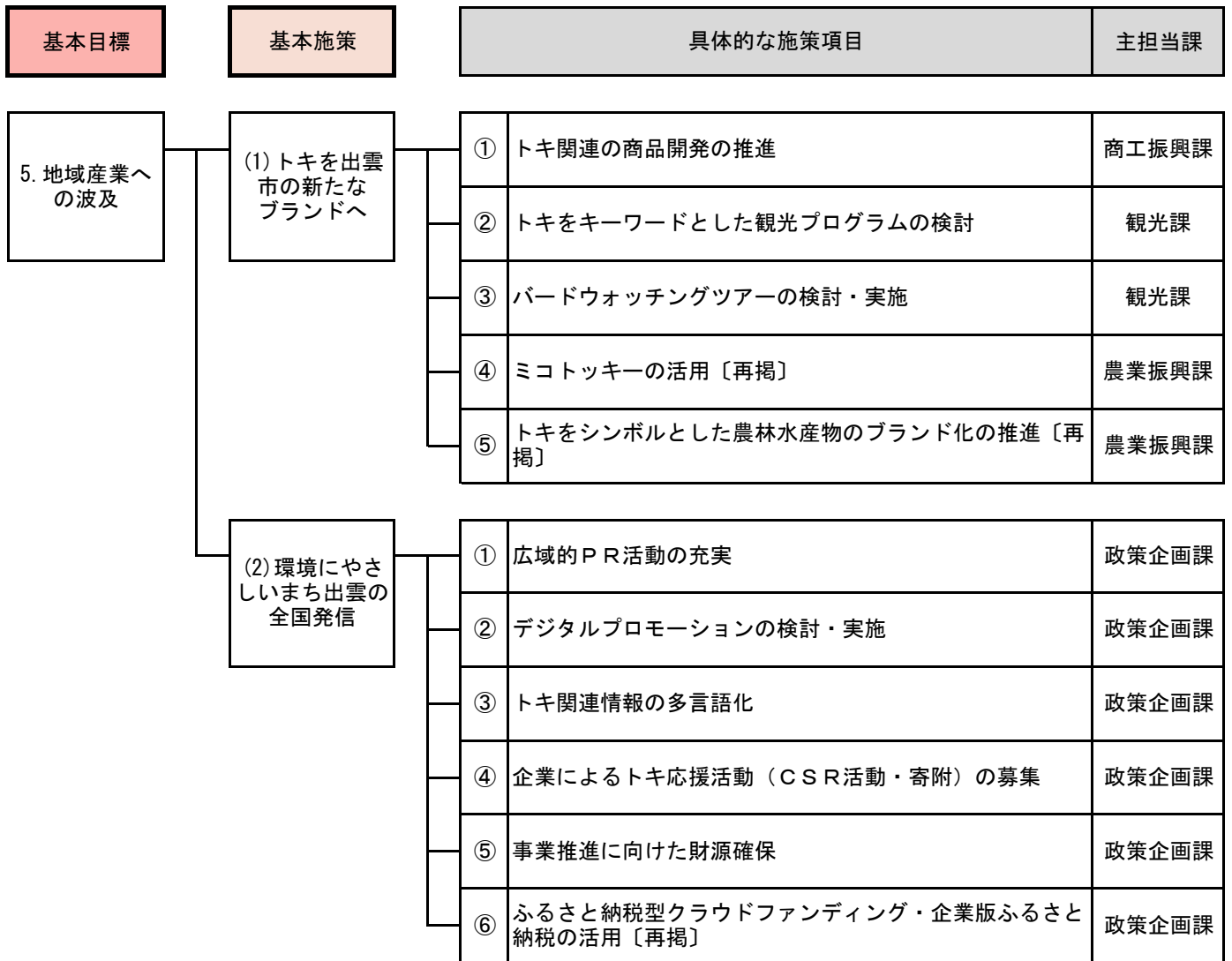




# 出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025 体系図



# 出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025 体系図



(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画									
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
①	PR活動・ブランディング戦略の推進【一部新規】	啓発用のポスターやパンフレットの作製、展示資料の充実、ノベルティグッズの作製、PR看板の設置などPR活動の充実を図る。あわせて独自ブランドの確立に向けてブランディング戦略について検討し、情報発信を行う。	ポスター・パンフレットの作成 展示・啓発資料の充実 ノベルティグッズの作製 PR看板の設置				国のロードマップ2030・放鳥にあわせてリニューアル					
	政策企画課		ブランディング戦略の検討・情報発信									
②	トキ色の活用【新規】	市のイメージカラーに設定したトキ色を活用し、トキによるまちづくり事業を視覚的に啓発する。	トキ色の指定		トキ色の活用（ソフト・ハード） 民間活用の斡旋							
	政策企画課		トキ色ライトアップ・ワークショップ事業									
③	シンポジウム・説明会の実施【新規】	シンポジウム（基調講演・パネルディスカッション等）や説明会を実施し、広く周知を図る。	シンポジウムの開催 ・基調講演 ・パネルディスカッション 説明会の実施									
	政策企画課											
④	（仮称）出雲市トキによるまちづくり条例及びトキの日の制定【新規】	トキによるまちづくりに向けた行政、市民及び関係団体等の役割等を明示した基本条例を制定するとともに、トキの日を定め、市全体の機運醸成を図る。	条例案検討				トキの日の制定					
	政策企画課		トキの日のイベント									
⑤	島根県実施イベント等とタイアップした企画展示【拡充】	島根県等が実施する企画展示にトキの展示物を活用していただくとともに、市の各種イベントに出展し幅広く啓発を行う。	企画展示の実施									
	政策企画課		展示物等の更新		展示物等の更新				展示物等の更新			
⑥	ふるさと納税型クラウドファンディング・企業版ふるさと納税の活用【新規】	ふるさと納税型クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税の活用により、広く普及啓発を図るとともに、財源確保を図る。	ふるさと納税型クラウドファンディング									
	政策企画課		企業版ふるさと納税									

(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画											
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12				
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030				
⑦	トキファンクラブの設置【新規】	トキファンクラブを設置し、トキの野生復帰に向けた機運醸成を図る。トキに関するトピックスや市民・企業がトキのためにできることをSNSを活用してわかりやすく情報発信する。		トキファンクラブの設置 会員特典の検討										
	政策企画課													
⑧	NPO法人いずも朱鷺21の活動支援【既存】	トキ関連事業の開始当初から中核組織として取り組んでいるNPO法人いずも朱鷺21の独自事業（地元説明会、トキグッズの作製・販売、ピオトープの設置等）の活動を支援するとともに、トキの取組の賛同者の拡大を図る。		活動支援										
	政策企画課													
⑨	賛同者との連携強化・活動支援【新規】	新たな賛同者・賛同団体の拡大を図るとともに、賛同者の活動の支援策について検討する。												
	政策企画課													
⑩	様々な媒体を活用した情報発信【拡充】	情報発信のあり方について方針をまとめ、HP、SNS、Youtube、CATV等の様々な媒体を活用し情報発信を行う。												
	広報課													
⑪	トキ学習コーナー展示品のリニューアル【既存】	トキ学習コーナーの展示品の更新		更新計画の策定										
	農業振興課													
⑫	県内・市内の鳥類等見学施設との連携【新規】	トキ公開施設、トキ学習コーナー、愛宕山公園、しまね花の郷、松江フォーゲルパーク、宍道湖グリーンパーク等との共同事業（例：スタンプラリー）の実施。		協力体制構築										
	農業振興課													

(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
⑬	バックヤード体験ツアー、エサやり体験の拡充【一部新規】	非繁殖期の7月・8月ごろに、トキ分散飼育センターのバックヤード体験ツアーを開催する。また、トキ近似種エサやり体験についても実施する。								
	農業振興課									
⑭	愛宕山公園におけるトキ近似種の飼育・公開【新規】	愛宕山公園内にトキ近似種の飼育・公開場所を設置し、直接触れ合う機会を増やす。								
	都市計画課									
⑮	トキの認知度調査の実施	トキの認知度調査を実施し、トキによるまちづくりの認知度を把握するとともに、施策立案に活用する。								
	政策企画課									



(3) 農業者・関係者の理解醸成

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
①	農業関係者との 座談会・説明会 の実施【新規】	トキの餌場確保に向け、JAなどの 関係機関と連携し、トキの放鳥に不安を感じる農業者等に対し、座談会 など農業者が集まる会等に出向き、 理解醸成に努める。	座談会・説明会の実施							
	農業振興課									
②	放鳥適地におけ る説明機会の確 保【新規】	放鳥適地の地域において放鳥・野生 復帰に向けた取組などを説明する機 会を確保し、トキによるまちづくり 事業について理解醸成を図る。	様々な機会を通じて説明の実施							
	農業振興課									

(1) 環境にやさしい農業の推進

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画									
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
①	出雲市環境にやさしい農業研究会による調査・研究【新規】	環境にやさしい農業技術体系・農産物のブランド化戦略の検討などに取り組むとともに、トキの放鳥に向け餌場確保につながる水田管理体系の検討も進めていく。農業者が生産面はもとより販売面でも安心して取り組める環境づくりを行い、経営安定に資する環境にやさしい農業の確立を目指すしていく。	研究会による調査・研究									
	農業振興課											
②	(仮称)出雲市環境にやさしい農業推進協議会による普及【新規】	環境にやさしい農業の本格的な普及に向けて、研究会を引き継ぐ発展的な組織として「(仮称)環境にやさしい農業推進協議会」を設立し取り組んでいく。				推進協議会による普及促進						
	農業振興課											
③	有機農業等の普及が可能な環境にやさしい農業技術体系の確立【新規】	県農業技術センターの栽培暦をベースとして、さらに省力化・効率化等の視点で検討した栽培方法の実証試験を中山間地域や平野部で実施し、普及が可能な取り組みやすい技術体系の確立を行う。	実証試験の内容協議		実証試験の実施・検証		栽培暦作成		普及促進			
	農業振興課											
④	トキの餌場確保につながる水田管理体系の普及【新規】	雨水田んぼ、早期湛水、江(え)の設置等の実証試験を行い、生産性や作業性、生物多様性への影響を検証した上で、普及していく。また、防草シートや環境にやさしい除草資材等の実証を行い、効果や経済性等を検証した上で、普及していく。	実証試験の内容協議		実証試験の実施・検証		管理暦作成		普及促進			
	農業振興課											
⑤	トキをシンボルとした農林水産物のブランド化の推進【新規】	トキの生息環境への配慮やSDGs視点の農林水産物について、トキの冠をつけた販売展開を進める。また、市独自認証農産物制度(トキを育むいずも●●米等)を確立し、付加価値をつけたブランド展開を進める。	関係者意見交換		販売戦略の検討・商品開発		試行販売		本格販売			
	農業振興課											



(2) 既存制度の活用・推進

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
①	有機JAS認証・特別栽培農産物の普及【拡充】	有機JAS認証農産物や特別栽培農産物の普及を進める。								
	農業振興課									
②	指定棚田地域振興活動との連携【拡充】	稗原指定棚田地域振興協議会（山寄・市森・野尻地区）の活動と連携し、棚田が持つ多面的機能を活用し、交流人口の拡大など地域振興を進める。								
	農業振興課									
③	環境保全型農業直接支払交付金の活用【拡充】	有機農業、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援する。								
	農業振興課									
④	新出雲農業チャレンジ事業の活用【一部新規】	環境にやさしい農業推進事業により、調査・研究活動や機械・設備の導入、トキの生息環境に資する水田管理への支援を行う。								
	農業振興課									

(1) 生息環境整備に向けた取組

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画									
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
①	生息環境基本指針の策定【新規】	放鳥要件や出雲市トキ野生復帰アドバイザー等の意見を踏まえ、生息環境基本指針を策定する。	生息環境整備について意見交換			生息環境基本指針の策定・冊子作製		生息環境基本指針の周知・取組幹旋				
	農業振興課											
②	出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会による生きもの調査【既存】	環境保全型農業に取り組む営農組合に依頼し、谷あいをつつのエリアとして生き物調査を実施する。	生きもの調査									
	政策企画課											
③	通年湛水箇所の整備【新規】	田んぼにおいて、土水路やビオトープなど通年にわたり湛水ができる箇所を整備し、成果を検証したうえで横展開を図る。	試行的実施		制度設計		補助制度の実施					
	農業振興課											
④	餌資源量調査の実施【新規】	市内の主要な放鳥適地において餌資源量調査を実施する。	餌資源量調査									
	農業振興課											
⑤	餌場環境整備の検討【新規】	餌資源量調査の結果及び環境にやさしい農業の普及状況を踏まえ、餌場環境（田んぼビオトープ等）の整備について検討する。	餌場環境整備の検討									
	農業振興課											
⑥	トキの餌場確保につながる水田管理体系の普及【新規】〔再掲〕	雨水田んぼ、早期湛水、江（え）の設置等の実証試験を行い、生産性や作業性、生物多様性への影響を検証した上で、普及を図る。また、防草シートや環境にやさしい除草資材等の実証を行い、効果や経済性等を検証した上で、普及を図る。	実証試験の内容協議		実証試験の実施・検証		管理暦作成		普及促進			
	農業振興課											

(2) 森林や水辺の再生と活用

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
①	斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と生きる流域づくり検討協議会における連携強化【既存】	国土交通省出雲河川事務所及び圏域自治体等と連携し、大型水鳥類の生息環境づくりに向けて、面的整備に取り組む。	大型水鳥類の生息環境の検討・実施							
	建設企画課									
②	市内の水生生物調査の実施【既存】	市内の水生生物調査を実施し、調査結果をもとに作成した小学生向け冊子を配布し、環境教育に活用する。	水生生物調査の実施							
	環境政策課		小冊子の配布							
③	河川・湖沼周辺の清掃活動等【既存】	トキが生息するための良好な水辺環境を整備するため、用排水路、河川、神西湖等の清掃活動の支援をするとともに、6月の環境月間には、ラムサール条約の趣旨である「環境の保全」と「賢明な利用（ワイズユース）」に対する地域住民の意識の高揚を図るため、宍道湖沿岸の一斉清掃を行う。また、市内河川水質検査についても継続して実施する。	水路等の清掃活動の支援 (汚泥等の収集、土のう袋及びごみ袋の配布)							
	環境政策課		中海・宍道湖一斉清掃の実施							
④	宍道湖水環境改善協議会の事業実施【既存】	中海・宍道湖一斉清掃、ヨシ関連事業（刈り取り、利活用）、環境関連啓発事業（手長エビ・シジミ採り体験、絵画コンクール）、上下流交流事業・木育環境学習事業、調査研究事業を実施する。	宍道湖水環境改善協議会の事業実施							
	環境政策課		市内河川水質検査の実施（21河川38か所）							
⑤	森林整備による水源涵養機能の回復・向上【新規】	主伐・再造林の推進	主伐・再造林の推進							
	森林政策課									

(3) 野生動植物にも人にもやさしい里山づくり

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
①	出雲・雲南地域 広域連携生態系 ネットワーク推 進協議会におけ る連携強化【既 存】	島根県、雲南市、奥出雲町及び飯南 町と連携し、トキと共に生きる環境 づくりとして、自然環境の把握、情 報発信、環境づくりを通じた広域的 な環境にやさしいまちの意識醸成に 取り組む。	現・生物多様性連携保全活動計画の促進							
	現計画の検証			次期計画の策定				次期計画の促進		
	政策企画課									
②	侵入竹の除去に よる里山林の健 全化【既存】	侵入竹の除去や里山林の保全を行う 住民団体への支援（森林・山村多面 的機能発揮対策事業、森林機能発揮 事業）	森林・山村多面的機能発揮対策事業（国事業）							
	森林機能発揮事業									
	森林政策課									

(4) 放鳥に係る体制づくり

no.	施策項目 (担当課)	施策の内容	年次計画							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
①	広域連携体制の構築【新規】	トキの放鳥・野生復帰に向けては広域連携による体制づくりが不可欠であり、島根県、周辺自治体等との連携体制について協議・調整を行う。	広域連携体制の協議・調整			広域連携体制の充実				
	政策企画課									
②	市民及び観光客向け観察マニュアルの作成・周知【新規】	トキの生態に影響を及ぼさない適切な観察方法として、観察マニュアルを作成し、観察の仕方について周知・徹底する。				観察マニュアルの策定	観察マニュアルの周知・徹底			
	政策企画課									
③	放鳥場所の検討・選定【新規】	餌資源量調査の結果及び環境保全型農業の普及状況を踏まえ、放鳥場所について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ選定する。			放鳥場所の検討・選定					
	農業振興課									
④	順化訓練及び放鳥方法の検討・放鳥の実施体制の構築【新規】	順化訓練、放鳥方法及び放鳥の実施体制のあり方について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め体制を構築する。		検討・協議調整・体制構築						
	農業振興課									
⑤	天敵対策の検討・実施【新規】	テン等の天敵対策（営巣木への波板の設置等）について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め実施する。		検討・協議調整			天敵対策の実施			
	農業振興課									
⑥	放鳥後のモニタリング体制の構築【新規】	野生下におけるトキの行動、生息環境等を調査するため、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め、モニタリングを実施する。		検討・協議調整・体制構築			モニタリングの実施			
	農業振興課									

(4) 放鳥に係る体制づくり

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
⑦	トキの傷病・死亡等の緊急時の体制構築【新規】	トキの傷病・死亡等の個体が発見された場合の緊急時の体制について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め対応する。		検討・協議調整・体制構築				緊急時の対応		
	農業振興課									
⑧	放鳥後の生態系・環境への影響調査【新規】	放鳥後によって生態系・環境へどのような影響があるのか調査のあり方も含めて検討する。						放鳥後の影響調査		
	環境政策課									

(1) つながる人の輪

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画								
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
①	トキと共生する里地づくりネットワーク協議会【既存】	佐渡市、石川県及び出雲市が持ち回りで協議会を開催し、本州においてトキが生息できる環境整備を円滑に行うことを目的に情報共有を行う。									
	政策企画課										
②	佐渡市への職員の研修派遣【新規】	放鳥に向けた体制を整えるため、佐渡市に職員の研修派遣を行う。									
	農業振興課										
③	斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と生きる流域づくり検討協議会における連携強化【既存】〔再掲〕	国土交通省出雲河川事務所及び圏域自治体等と連携し、大型水鳥類の生息環境づくりに向けて、面的整備に取り組む。									
	建設企画課										
④	出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会における連携強化【既存】〔再掲〕	島根県、雲南市、奥出雲町及び飯南町と連携し、トキと共に生きる環境づくりとして、自然環境の把握、情報発信、環境づくりを通じた広域的な環境にやさしいまちの意識醸成に取り組む。									
	政策企画課										
⑤	ふるさと納税型クラウドファンディング・企業版ふるさと納税の活用【新規】〔再掲〕	ふるさと納税型クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税の活用により、広く普及啓発を図るとともに、財源確保を図る。									
	政策企画課										
⑥	トキファンクラブの設置【新規】〔再掲〕	トキファンクラブを設置し、トキの野生復帰に向けた機運醸成を図る。トキに関するトピックスや募金、市民や企業がトキのためにできることをSNSを活用してわかりやすく情報発信する。									
	政策企画課										

(1) つながる人の輪

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
⑦	NPO法人いずも朱鷺21の活動支援【既存】 〔再掲〕	トキ関連事業の開始当初から中核組織として取り組んでいるNPO法人いずも朱鷺21の独自事業（地元説明会、トキグッズの作製・販売、ピオトープの設置等）の活動を支援するとともに、トキの取組の賛同者の拡大を図る。	活動支援							
	政策企画課									



(1) トキを出雲市の新たなブランドへ

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	年次計画										
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12			
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030			
①	トキ関連の商品開発の推進【新規】	事業所及び関係団体におけるトキ関連の商品開発及び販売を支援する。		■	■								
	商工振興課					■	■	■	■	■	■	■	■
②	トキをキーワードとした観光プログラムの検討【新規】	ファミリー層をターゲットとしたトキ公開施設（バックヤード体験含）及びしまね花の郷を活用したツアーの検討など、既存の観光地と連携した観光プログラムを検討する。		■	■								
	観光課					■	■	■	■	■	■	■	■
③	バードウォッチングツアーの検討・実施【新規】	トキ放鳥に向け、既存のバードウォッチングツアー参加者に情報発信を行うとともに、トキを含めたバードウォッチングツアーの内容について検討を行う。		■	■								
	観光課					■	■	■	■	■	■	■	
④	ミコトッキーの活用【既存】 〔再掲〕	出雲市トキによるまちづくりマスコットキャラクターのミコトッキーを活用し、トキの放鳥・野生復帰についてPRする。	■										
	農業振興課		■										
⑤	トキをシンボルとした農林水産物のブランド化の推進【新規】 〔再掲〕	トキの生息環境への配慮やSDGs視点の農林水産物について、トキの冠をつけた販売展開を進める。また、市独自認証農産物制度（トキを育むいずも●●米等）を確立し、付加価値をつけたブランド展開を進める。		■	■								
	農業振興課					■	■	■	■	■	■	■	■



# トキによる環境にやさしいまちづくり 関係協議会

## 1. 出雲市トキによるまちづくり推進協議会

目的：国のトキ保護増殖事業におけるトキ分散飼育の一翼を担い、国際的な希少種の保護や自然との共生社会の実現を目指すとともに、地域・住民と行政の協働によるトキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりを推進することを目的とする。

構成団体等	
出雲市	市長（会長） 教育長、総合政策部、農林水産部、環境エネルギー部
島根県	県知事（顧問） 農林水産部、環境生活部
市議会	総務委員長、建設農林水産委員長、トキ協議会長
国土交通省	出雲河川事務所長
有識者	島根大学、三瓶自然館
各種団体等	商工会議所、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、観光協会、自治協会、学校、NPO 法人いずも朱鷺 21、NPO 法人国際交流フラワー21、NPO 法人川と湖いきいき神西
事務局	出雲市

## 2. 出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会

目的：出雲市及び斐伊川上流域の雲南市・奥出雲町・飯南町で構成される出雲・雲南地域において、多様な主体が連携・協働し、コウノトリ・トキ等を指標とする生態系ネットワークの形成を通じて生物多様性の保全再生及び地域活性化等に資することを目的とする。

構成団体等	
委員	山陰中央新報社（会長）、NPO 法人、地区振興協議会、日本野鳥の会、三瓶自然館、地域団体、学校、農業協同組合、漁業協同組合、観光協会、県技術士会等
オブザーバー	ホシザキグリーン財団
関係行政機関	奥出雲町、飯南町、国土交通省、環境省
事務局	島根県、出雲市、雲南市

## 3. 斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

目的：多様な主体が連携・協働し、大型水鳥類を指標とする生態系ネットワークの形成を通じた地域活性化及び経済振興の実現を図るための効果的方策の検討を目的とする。

構成団体等	
専門家	東京都市大学（会長）、日本野鳥の会、山陰中央新報社、山陰合同銀行、日本鴈を保護する会、兵庫県立大学
関係団体	中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、農業協同組合、観光協会、漁業協同組合、米子水鳥公園、ホシザキグリーン財団、NPO 法人
関係行政機関	米子市長、境港市長、松江市長、出雲市長、安来市長、雲南市長、奥出雲町長、飯南町長、出雲河川事務所長、鳥取県生活環境部・農林水産部・県土整備部・西部総合事務所、島根県地域振興部・環境生活部・農林水産部・商工労働部・土木部
オブザーバー	環境省、農林水産省
事務局	国土交通省出雲河川事務所